

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語
科目基礎情報						
科目番号	0039		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	環境都市工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『論理国語』(大修館書店)、『文学国語』(筑摩書房)、「新編古典探究」(東京書籍) / 『基礎からの国語表現の実践』(京都書房)、『標準漢字演習』(とうほう)					
担当教員	和田 茂俊,梶島 雅弘					
到達目標						
1、代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを的確に理解して味わうとともに、その効果について説明できる。 2、代表的な文学・評論を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりできる。 3、情報の収集や構成の方法を理解し、科学技術等に関する意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性に鑑みて情報分析し、図表等を用いてコミュニケーションに活用することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
論理的文章	文章を読解して正しく理解し、得られた情報をもとに正しい用語を用いて自分の意見を効果的に表現することができる。		文章を読解して理解し、得られた情報をもとに正しい用語を用いて自分の意見を表現することができる。		文章を読解して理解し、得られた情報をもとに正しい用語を用いて自分の意見を表現することができない。	
	実用的な文章を作成し、自らのコミュニケーションスキルを主体的に構築していくことができる。		実用的な文章を作成し、自らのコミュニケーションスキルを構築していくことができる。		実用的な文章を作成し、自らのコミュニケーションスキルを構築していくことができない。	
	歴史的な視点や他者の視点、新たな発想を知ることによって自らの思考を相対化し、言語表現の技術を十分に向上させることができる。		歴史的な視点や他者の視点、新たな発想を知ることによって自らの思考を相対化し、言語表現の技術を向上させることができる。		歴史的な視点や他者の視点、新たな発想を知ることによって自らの思考を相対化し、言語表現の技術を向上させることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
D						
教育方法等						
概要	読む・聞く・書く・話す・考えるという日本語の能力を有機的に連携させつつ育成することにより、社会において求められる論理的かつ多角的な理解力、柔軟な発想・思考力、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーション能力、および主体的な表現意欲を培う。また、基本文献の音読・読解をとおして自らの思考の相対化を図るとともに、言語表現の技術を主体的に向上させる。					
授業の進め方・方法	授業の進め方については講義・演習形式を併用する。					
注意点	皆さんが将来どのような職業に就くとしても、文章読解、文章表現、口頭表現の技術と、論理的かつ相対的な思考方法の獲得は必須である。もちろん、感情の理解と表出が、学校、職場、家庭などのあらゆる人間関係の基礎となるのは言うまでもない。授業を受身の姿勢で聞くだけではなく、「書く」「話す」「考える」行為を主体的に行ってほしい。3年時の教科書は難易度が高いので、しっかり学ぶことが必要となろう。さらに授業時以外でも、幅広いジャンルの読書を行なうことが望ましい。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス スピーチの方法	スピーチの方法を理解できる。		
		2週	評論「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ	現代の諸問題を理解し、自身の思考を相対化できる。		
		3週	評論「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ	現代の諸問題を理解し、自身の思考を相対化できる。		
		4週	評論「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ	現代の諸問題を理解し、自身の思考を相対化できる。技術にすぐれるための心構えを理解する。		
		5週	表現 文章の基礎	漢字や語彙についての知識を深めることができる。技術にすぐれるための心構えを理解する。		
		6週	小説「水仙」	新たなものの見方を理解して、自らの表現に生かすことができる。		
		7週	小説「水仙」	新たなものの見方を理解して、自らの表現に生かすことができる。		
		8週	小説「水仙」	新たなものの見方を理解して、自らの表現に生かすことができる。		
	2ndQ	9週	小説「水仙」	新たなものの見方を理解して、自らの表現に生かすことができる。		
		10週	表現 意見の発表	他者が理解できるよう自身の意見を伝えることができる。		
		11週	随想「陰翳礼讃」	作者の主張を正確に読解することができる。		
		12週	随想「陰翳礼讃」	作者の主張を正確に読解することができる。		
		13週	随想「陰翳礼讃」	作者の主張を正確に読解することができる。		
		14週	随想「陰翳礼讃」	作者の主張を正確に読解することができる。		
		15週	期末試験	試験により理解度を点検し、今後に生かすことができる。		

		16週	試験答案返却・解答解説	試験による理解度点検を行うとともに、理解が不十分であった部分を補うことができる。
後期	3rdQ	1週	小説「舞姫」スピーチの方法②	人間関係の力学や欲望の発生の構造を理解できる。
		2週	小説「舞姫」スピーチ実践の開始	人間関係の力学や欲望の発生の構造を理解し、自らの思考を相対化できる。
		3週	小説「舞姫」	人間関係の力学や欲望の発生の構造を理解し、自らの思考を相対化できる。
		4週	小説「舞姫」	人間関係の力学や欲望の発生の構造を理解し、自らの思考を相対化できる。
		5週	小説「舞姫」	人間関係の力学や欲望の発生の構造を理解し、自らの思考を相対化できる。
		6週	小説「舞姫」	人間関係の力学や欲望の発生の構造を理解し、自らの思考を相対化できる。
		7週	小説「舞姫」	人間関係の力学や欲望の発生の構造を理解し、自らの思考を相対化できる。
		8週	小説「舞姫」	人間関係の力学や欲望の発生の構造を理解し、自らの思考を相対化できる。
	4thQ	9週	評論 「猫は後悔するか」映像表現の手法	論理的な文章を読み、論理の展開を的確に把握するとともに、自らの意見を表明することができる。
		10週	評論 「猫は後悔するか」映像表現の手法	論理的な文章を読み、論理の展開を的確に把握するとともに、自らの意見を表明することができる。
		11週	評論 「猫は後悔するか」	論理的な文章を読み、論理の展開を的確に把握するとともに、自らの意見を表明することができる。
		12週	評論 「猫は後悔するか」	論理的な文章を読み、論理の展開を的確に把握するとともに、自らの意見を表明することができる。
		13週	評論 「猫は後悔するか」	論理的な文章を読み、論理の展開を的確に把握するとともに、自らの意見を表明することができる。
		14週	表現 手紙の書き方	実用的な文章を書くことができる。
		15週	期末試験	試験により理解度を点検し、今後に生かすことができる。
		16週	試験答案返却・解答解説	試験による理解度点検を行うとともに、理解が不十分であった部分を補うことができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	前4,後13
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前2,後11
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	後14
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前10
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前10
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	前1
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	後13

評価割合

	試験60	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題その他40	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0